

日本高等教育評価機構の平成 29 年度認証評価において、  
本学は「適合」と判定されました。(平成 30 年 3 月 6 日)

学長 廣田良夫

平成 30 年も早 3 月となりました。

私にとって、平成 27 年 9 月に本学へ着任して以降、間もなく 3 回目の卒業式・入学式を迎えることとなります。

平成 20 年に設立された本学は、日本高等教育評価機構による評価を平成 26 年度に受けました。これは学校教育法において、総ての大学は 7 年以内ごとに認証評価機関による評価を受けなければならない、と規定されているためです。

評価は、教育・研究、組織・運営、施設・設備といった、大学全体の「質」を問うものです。

この時、「不適合」という厳しい評価が本学に下されました。

この評価結果をもとに、インターネット上で本学を中傷する多くの書き込みがあることを知り、心が痛みました。

また、何よりも、学生の皆さんやご家族の方々に申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。

そして一刻も早くこの「不適合」状態から抜け出すために、7 年経過を待つことなく、平成 29 年度に評価を再度受けることとしました。

平成 28 年度に教職員が総力を挙げて学内の点検を実施したところ、248 の課題が存在することを確認しました。

これらを「自己点検評価報告書」にまとめて公表するとともに、課題の解決に全力で取り組みました。

次に、課題解決後の状況を再度点検し、「自己点検評価書」に取りまとめて日本高等教育評価機構に提出し、書面調査と実地調査を受けました。

一連の活動を通じて学んだことは、自己点検・評価は、学校教育法に規定されているから行なうものでもなければ、認証評価を受審するために行うものでもない、ということです。

ひとえに、より良い学びを学生の皆さんに提供するためであり、内部質保証に誠実に取り組むことを通じて大学の社会的使命を果たすためである、ということです。

この度、日本高等教育評価機構から、平成 29 年度認証評価において本学は「適合」と判定されました。

卒業を迎える学生の皆さん、皆さんが学んだ大学に誇りを持って社会で活躍してください。

在学生の皆さん、皆さんの学び舎に自信を持って学修に努めてください。

そして高校生の皆さん、本学を信頼して、医療経営という将来性に富む進路を選択してください。